

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-514081(P2005-514081A)

【公表日】平成17年5月19日(2005.5.19)

【年通号数】公開・登録公報2005-019

【出願番号】特願2003-526351(P2003-526351)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/08 (2006.01)

A 6 1 B 8/08 (2006.01)

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/08

A 6 1 B 8/08

A 6 1 B 5/05 3 8 3

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月18日(2005.8.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

肺診断システムであって、

肺区画の呼吸特徴を反映する測定データを生成する、少なくとも1つのセンサ；

該肺区画に到達するように構成された肺カテーテルと接続可能な気管支内肺診断装置であって、

該肺カテーテルを通じて該肺区画へ、または該肺区画から、流体または気体を伝達する手段と、

該少なくとも1つのセンサから該測定データを受信する手段と、

該測定データを処理する手段と、

を含む装置；および

該処理済データを受信する、少なくとも1つのデータ受信構成要素、

を含む肺診断システム。

【請求項2】

前記呼吸特徴は、圧力、流量、速度、酸素濃度、二酸化炭素濃度、または希ガス濃度を含む、請求項1に記載のシステム。

【請求項3】

前記測定データを処理する手段は、前記測定データを分析する分析手段を含み、ここで該分析手段は、平均圧力値、容量値、コンプライアンス値、平均一回呼吸量値、抵抗値、またはこれらのいずれかの組み合わせを計算する、請求項1に記載のシステム。

【請求項4】

前記流体または気体を伝達する手段は、前記流体または気体の源と、該流体または気体の流れを生成する手段とを含む、請求項1に記載のシステム。

【請求項5】

前記気体は、空気、酸素、二酸化炭素、希ガス、放射線不透過性気体、分極気体またはこれらのうちのいずれかの混合物を含み、ここで、前記流体は、放射線不透過性造影溶液

、水、超音波画像作成流体、またはこれらの任意の組み合わせを含む、請求項4に記載のシステム。

【請求項6】

前記少なくとも1つのセンサが、前記肺区画内の圧力を反映する圧力測定データを生成する少なくとも1つの圧力センサと、該肺区画へ、または該肺区画からの流れを反映する流れ測定データを生成する少なくとも1つの流れセンサとを含む、請求項1に記載のシステム。

【請求項7】

前記測定データを処理するための手段が、前記流れ測定データからの容量測定データを算出するための手段と、前記流れ測定データおよび容量測定データから圧力-容量曲線を生成ための手段とを含む、請求項6に記載のシステム。

【請求項8】

前記肺カテーテルをさらに含み、そしてここで、前記少なくとも1つのセンサが、前記肺区画を特徴付ける空気速度測定データを生成する、該カテーテル上もしくは該カテーテル内に配置された少なくとも1つの速度センサを含む、請求項1に記載のシステム。

【請求項9】

前記肺カテーテルをさらに含み、そしてここで、前記少なくとも1つのセンサが、該カテーテル上に配置された少なくとも1つの信号放出センサを含み、そしてさらに、該少なくとも1つの信号放出センサから放出された信号を受信する、少なくとも1つの受信器を含む、請求項1に記載のシステム。

【請求項10】

前記区画が、肺組織を含み、そして、前記処理する手段が、該区画の該肺組織の前記抵抗を算出するための手段および/または前記肺通路内にある時に前記センサの位置を決定する手段を含む、請求項9に記載のシステム。